

令和3年度（百合丘高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上	教育公務員としての責任を自覚し、法令遵守意識の向上を図り、公務外非行や交通事故を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・公務外非行の新聞報道や教育局からの通知等については、速やかに職員に周知し、法令遵守の徹底を図った。 ・保護者及び地域の方々に対しての説明責任を果たせるよう、教職員としての崇高な使命を自覚し、引き続き責任ある行動を心がける。
②職場のハラスメント	職員の人権を尊重し、ハラスメント行為の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・経験の浅い教員研修における新たな視点で、職場における課題を洗い出すことで、教職員の意識向上を図った。 ・より相談しやすい相談体制を構築し、組織的に取り組めるようにする。
③生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員の人権を尊重し、ハラスメント行為の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者を深く傷つけ、生徒及び保護者との信頼関係を著しく裏切る行為であることを強く意識し、日頃からの行動の見直しを図った。 ・全ての教職員が相互に支えあって指導・支援に取り組めるようにする。
④体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重して指導にあたり、体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行えるよう指導を徹底した。 ・教員の果たすべき役割をしっかりと意識し、誇りをもって職務に励むことができるよう心がける。
⑤入学者選抜、成績処理及び進路関係資料の作成及び取扱いに係る事故防止	実効性のある点検体制を再構築し、定めたマニュアルに基づき確実に業務を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の振り返りをもとに実施要項及びチェックリストの見直しを行い、丁寧に読み合わせを行うことで、事故防止に努めた。 ・マニュアルを重視し、全ての教職員で相互に注意喚起し、事故の無い入学者選抜業務を遂行した。

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

入学者選抜においては、コロナ対応等の配慮すべき事項が次から次へと追加され、入学者選抜担当者の業務が増大する中ではあったが、事前のマニュアルの読み合わせ、事故防止研修等に丁寧に取り組むことによって、職員は日に日に逞しく成長し、自信をもって業務を遂行することができていた。「事故をおこさない、おこさせない」という強い気持ちを、次年度に、しっかりと引き継いでいきたい。

「生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止」については、臨時研修を含め、機会あるごとに注意喚起を行ってきた。研修及び協議を通して、職員相互で事故を未然に防ごうという気持ちが醸成されてきたと感じている。

次年度以降も、生徒及び保護者の皆さん、地域の方々から信頼される、事故の無い安全・安心な学校づくりを目指し、不祥事防止の取組を行っていきたい。